

2022年7月20日 十年を経て

今も私の中で、
慎之介の笑顔は輝いています。

これまで、多くの出会いに恵まれたことに、
心から感謝しております。

この10年、
子どもの命を守るために、
様々な取組や活動が推進されてきました。
水難事故防止については、
ライフジャケットの着用が前進してきたことを、
実感しています。

あのとき、
ライフジャケットを着ていれば、
慎之介は高校生になっていたかもしれません。

守れた命がある、防げた死であるということを
深く心に刻み、
事故の再発防止と未然防止の理解が、
社会全体に広がることを、
心から願います。

2022年（令和4年）7月20日

吉川優子